

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 043	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 ナシ改植等における「いや地」現象の対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現地において、ナシの改植を進めるにあたり、改植した苗木が生育不良になる例が多く見られる。一般的には「いや地」といわれているが、原因として土壤中のアレロパシー物質や土壤病害、微生物などの関与が示唆されているが、不明点も多く、有効な対策等がないのが現状である。 そのため、改植等における土壤対策・防除体系について検討を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部土壤環境研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	「いや地」の原因としては白紋羽病が考えられますが、その対策としては、土壤くん蒸剤の利用、温水治療、土壤還元消毒、低濃度エタノールを用いた土壤還元消毒と活性炭の併用処理などがあげられます。現地調査に協力し、対策に関する情報収集に努めます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			